

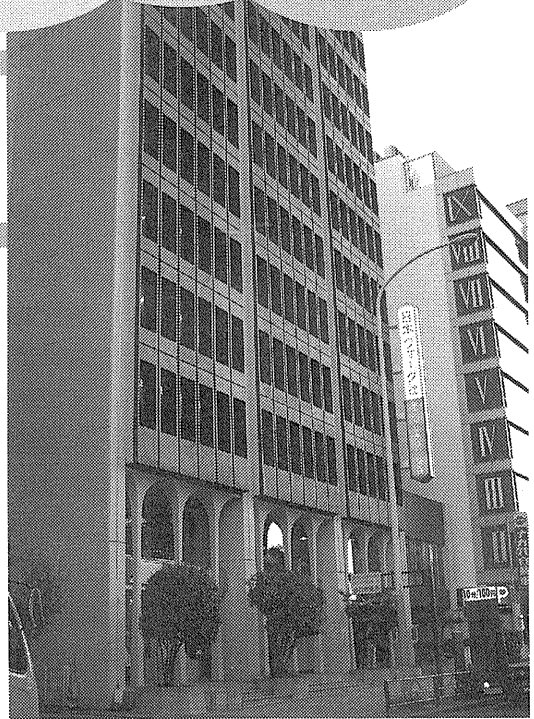
加速する出版流通システム

現場入力もスムーズにスタート

日本ヴォーグ社 Web 支払いシステム「X-Payment」を導入

日本ヴォーグ社は光和コンピューターのWeb 支払管理システム「X-Payment (クロス・ペイメント)」(X-P) を導入し、原稿料や商品仕入代金のデータを現場で入力する体制を整えつつあり、経理部門の作業が省力化されているという。

市ヶ谷本村町にある日本ヴォーグ社社屋



で⑤電子承認⑥支払管理⑦銀行振込データ作成⑧源泉管理(支払報告書、支払調書の作成) ⑥会計仕訳データ連動⑦各種管理帳票の Web 閲覧—などの機能を使うことができる。

多岐にわたる源泉徴収管理に対応

同社が X-P を導入したのは 2 年ほど前で、それまでの自社開発ソフトに代わるシステムとして選定した。以前のシステムは社内のシステム部門が開発したが、経理ソフトとしては使いづらい面があったのと、開発から 10 年を経て更新時期になっていたためだった。

経理部門の責任者である経営管理本部経理部・河本和也部長は、「出

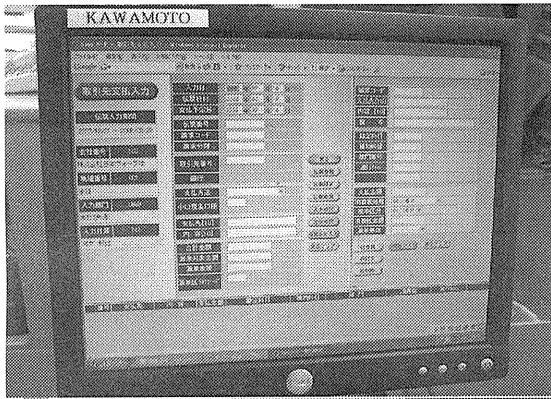
版社の支払には原稿料など源泉徴収が必要なものが多く、しかも支払先が著者、デザイナー、写真家などマスタ登録しているだけでも数千に達するほど多岐にわたるため、市販の会計ソフトでは対応できなかった」と専用システム導入の理由を説明する。

そこで、それまでも販売管理システムを導入していた光和コンピューターが販売する X-P の導入を決めたという。

Web 上で承認も可能に

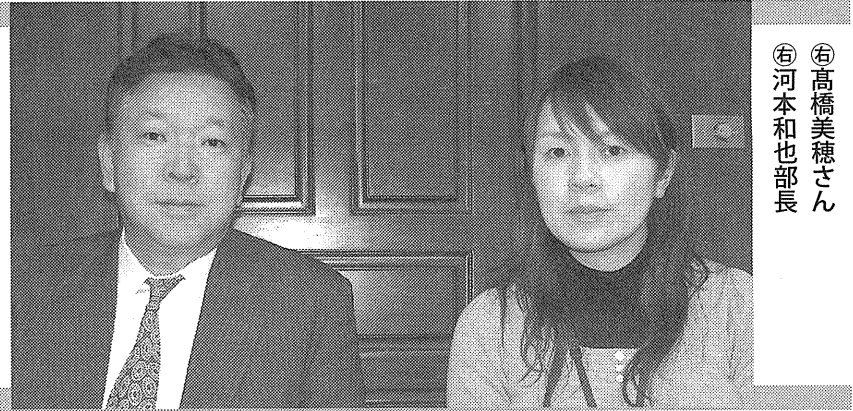
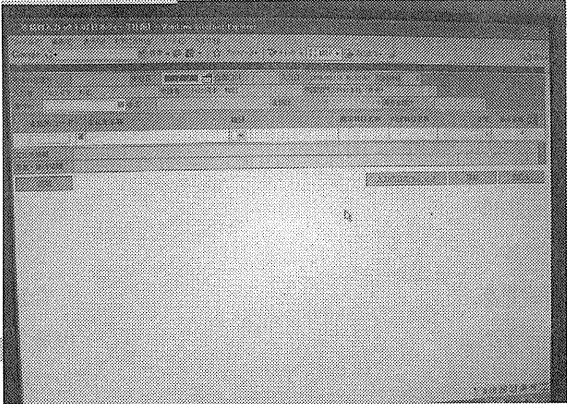
X-P の機能は支払全搬にわたり、編集や営業の現場担当者がそれぞれのパソコン画面で支払金額・項目を入力、上司や経理担当部門の承認機能から振込データ作成まで網羅する。この一連の作業を Web 上で行うことができるため、紙の伝票に比べて正確で迅速な処理が可能だ。

現場では①業者支払②社員支払③振替伝票④原稿料入力の画面で情報を入力。この申請に対して経理部



商品仕入など単一の支払先を利用する「取引先支払入力」画面

「原稿料入力」画面は出版物のコードを入力してから、その本で発生する各種の支払を入力していく



高橋美穂さん 河本和也部長

まずルーチンの支払入力から開始

同社ではこの一連の機能を順次利用しているが、データの現場入力については、まず原稿料や商品仕入の支払で昨年 5 月から開始した。

「もともと伝票を多く作成していた担当者からお願いし、広げていきました。また、仮払精算などイレギュラーなものはミスが出る可能性が高

いので、まず原稿料や商品仕入などルーチンの支払から始めたのです」と経理部で実際に処理に当たっている高橋美穂さんは話す。

当初は現場からの不満や多少の混乱も予想していたが、「最初は問い合わせが多かったのですが、2~3 カ月経つと減り、いまはほとんどありません」と、意外なほどスムーズに進んだという。

専門知識なくても入力が可能

現場で使う入力画面は、通信販売や会員組織への販売に関わる商品仕入など単一の支払先を処理する「取引先支払入力」と、原稿料など源泉徴収が伴う「原稿料入力」の 2 つの画面がある。

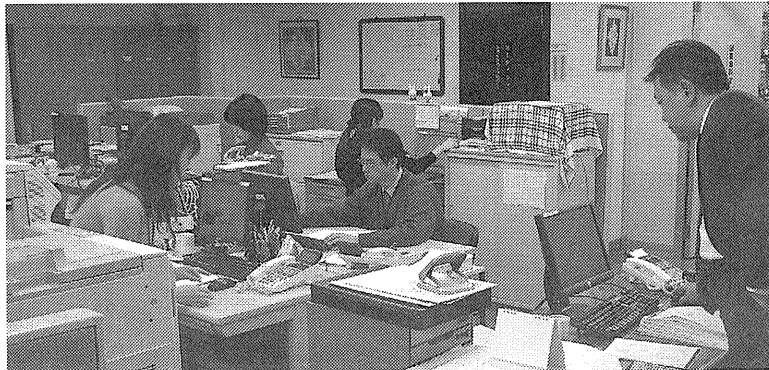
原稿料入力は出版物 1 点ずつで発生する著者、デザイナー、スタイリストなどへの複数の支払を管理し、30 近い源泉徴収の区分も一覧から選択できる。

「区分や摘要など決まったものは

自動で出るようにしているので、経理の知識がなくても使うことができる」と(河本部長)という。

入力されたデータは、現場の上司の承認を経て、経理部ではプリントアウトして請求書との突き合わせチェックを何度か行い、その上で銀行振り込み用の FB (ファームバンキング) データを作成している。

また、これのまで期末に手作業で行ってきた 1000 件を超える支払調書の発行・封入・発送も、データを業者に渡すことでアウトソースが可能になった。



経理部門の入力時間は削減された

経理部門の手間が減った

高橋さんは X-P 導入の効果について「現場で入力してもらえるのでチェックの手間だけになった。支払調書も私たちの手を通らずに送ることができるので手間が減った」と話

す。システムの導入費用は自社でのサーバー管理を含めて 1000 万円ほどだというが、今後は仮払精算など経費についても現場入力を始める予定で、そうなればさらなる効率化が期待できるという。

株式会社 日本ヴォーグ社
創立 1954 年 5 月 8 日
資本金 4000 万円
所在地 〒162-8705 東京都新宿区

市谷本村町 3 番 2 3 号
年商約 65 億円
従業員数 200 名 (07 年 2 月 1 日現在)